

「日本の家」協会を作りました。

～帰国したグルジアの研修員から～

「日本を懐かしく思い出しています。日本の文化に触れることができたのは素晴らしい体験でした」という便りが北海道国際センター（札幌）に寄せられた。手紙の主は、平成10年の2月から3月にかけて、中央アジア地域開発セミナーコースに参加して同センターに滞在した、グルジアからの研修員、テオドール・イサカゼさん（35歳）。

帰国後、日本が大好きという人たちを募って、「日本の家」協会を設立したことを知らせてきたもので、日本の団体・組織との交流を求めている。長い歴史と豊かな伝統文化を持つ両国の幅広い分野における友好交流を深めたいと9条から成る規約をつくり正式な会としてスタートしたという。

ある地区の地区長として来札、研修したイサカゼさんは現在、グルジア共和国の内務省次官のポストに就いている。グルジアとの交流に関心のある方は下記に直接ご連絡下さい。

Mr. Theodore Isakadze
Japan House
11-1, Dzmebi Kakabaddzeebi st. Tbilisi, GEORGIA
Tel / Fax +995 (32)921-423
jhouse@acces. sanet. ge



国際協力事業団発行の刊行物について

図書資料室には、国際協力事業団（JICA）が蓄積してきた様々な情報を備えてありますが、これらの資料は他の図書館では閲覧することが難しいものです。こちらにない資料でも、取り寄せることが可能ですので、どうぞお気軽におたずねください。

●開発途上国技術情報データ・シート

（図書資料室所蔵53ヶ国分）

開発途上国を対象とした分野別の技術情報（開発計画、行政組織、技術水準、現況整備水準、先進国・国際機関の援助動向等）について、国際協力事業団（JICA）内部及び国内で収集可能な資料に基づき、体系的にデータ・シートに加工したものです。

例）タンザニア（3分冊、800シート）

第1分冊：計画・行政/公共・公益事業

第2分冊：農林水産/鉱工業

第3分冊：エネルギー/人的資源/保健・医療/社会福祉/その他(環境)・・・について

●任国情報（図書資料室所蔵109ヶ国分）

開発途上国への入国及び滞在にあたって必要な情報、特に生活情報などを提供する目的で作成されたもので、派遣中の専門家や国際協力事業団（JICA）関係者の執筆を中心にまとめられています。

各国概況・略史・経済指標や、食生活・衣料・住居・医療・教育・交通など、役に立つ情報を体系的に整備しています。

国際協力事業団（JICA）のホームページ上でも、国別情報や事業の実績、人材募集案内などの情報を提供しています。

→<http://www.jica.go.jp>



LIBRARY INFORMATION

●国際協力事業団年報

国際協力事業団の事業内容と実績を詳しくまとめたものです。本編と資料編に分かれていて、

本編では、
・ODAとJICA事業
・JICA事業の地域別取り組み
・JICA事業の仕組み

資料編では、
・国別事業概要
・事業実績・事業統計・・・

…などが多くの事例と共に説明されています。

（1999年版から資料編がCD-ROMになりました）

他にも、各種研究会やプロジェクトの報告書等も取り揃えております。どうぞご利用下さい。

北海道国際センター(札幌)図書資料室

〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4-25
（地下鉄東西線・南郷18丁目駅下車、徒歩約10分）

TEL:011-866-8306 FAX:011-866-8302

E-mail:s.lib@nrc.or.jp

OPEN：月～金 9:30～19:00

土 10:00～16:00

CLOSE：日曜・祝日、年末年始など

どなたでも閲覧できます。貸出はしていません

[蔵書冊数]

- ・一般図書(和書) 1,903冊
- ・一般図書(洋書) 1,699冊
- ・JICA刊行物 705冊
- ・視聴覚資料 221点
- ・逐次刊行物(和雑誌) 25タイトル
- ・逐次刊行物(洋雑誌) 17タイトル

